

来を切り拓く

2月27日に開会しました平成29年八幡市議会第1回定例会で、堀口市長は市政運営についての基本姿勢および取り組むべき重点施策を盛り込んだ「平成29年度施政方針」を表明しました。その主な内容を紹介します。また、施政方針の全文は市ホームページ (<http://www.city.yawata.kyoto.jp/>) に掲載しています。



がります。また、活力となります。健康づくりをさ「やわたスマート」にした計画を策(道師)の養成、市民の皆様や関係都市を創生して

養成(新規)	55万円	■地域包括支援センター運営強化(充実)	6,390万円
研修受講料助成(新規)	60万円	■データヘルス計画策定(継続)	500万円
把握事業(新規)	320万円	■大谷川公園人道橋等改修(新規)	1,400万円
事業(充実)	624万円	■道路維持(市道宮道線整備)(新規)	300万円

創意工夫と努力惜しまず

八幡市長 堀口文昭

昨年2月、2期目の市政運営をスタートさせていただき、早1年が過ぎ去ろうとしています。市民協働を基本に、公約実現に向けたまちづくりをさらに進めていかなければならないと意を新たにしたところでございます。

さて、平成29年度は、市制施行40年を迎えます。未来を生きる世代が安心して暮らせるよう、今を生きる私たちが世代が責任を全うし、これまでの実りを振り返り、それを活かした新たな一歩のスタートの年だと考えています。人口減少時代の到来により歳入の先細りや社会保障関係経費の増加が見込ま

れます。また、国の財政状況も厳しく、地方自治体の財源確保が難しくなっています。立ちほだかる「壁」に真正面に向き合いながら「足腰の強い行財政構造を確立」し、持続可能な八幡市運営を行っていかねばならないと考えています。

国では、2020年に向けた経済成長のエンジンとしてアベノミクス「新3本の矢」が打ち出され、様々な施策展開が図られているところです。

本市におきましては、第4次八幡市総合計画の総括を行い、将来の八幡市に思いを馳せながら次期総合計画の策

定に取り組んでまいります。また、平成28年2月に策定いたしました「八幡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に沿って、地方創生の深化と地域の活性化に向けた取組を着実に推進することも重要であります。加えて、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年問題への対応につきましても「まちづくり政策」の中核と捉え、スマートウェルネスシティ「健康都市の創生」の取組を進めることも重要な視点と考えています。

人口減少、少子高齢化、地方分権の本格的な到来により、本市を取り巻く

環境は大きく変化してきています。京都府と力を合わせながら、今なすべきことに集中し、事業を選択しながら、創意工夫と努力を惜しまず、八幡市の未来を切り拓いてまいります。



互いに支えあい 共生できるまちづくり

地域コミュニティは市民自治の基礎です。しかしながら、個人の生活様式や価値観の多様化、また、核家族化が進み、地域コミュニティが希薄化してきています。市民一人ひとりが、互いに人権を尊重し、理解しあいながら、誰もが自分らしくいきいきと暮らせるとともに、支え、支えられる社会の実現を目指した取組を進めることとしております。

■山城人権フェスタ・やわた男女共同参画フェスティバル開催(臨時・継続)	210万円
■男女共同参画社会啓発(DVカード作成等)(継続)	6万円
■障がい者計画等策定(新規)	501万円
■地域生活支援拠点事業(継続)	790万円
■ふれあい訪問収集(継続)	114万円
■民生委員制度創設100周年記念事業(新規)	45万円
■絆ネット構築支援事業(継続)	370万円
■地域福祉推進計画策定(継続)	299万円
■男山地域再生・地域包括ケア事業助成(継続)	655万円
■コミュニティ事業推進(継続)	3,720万円
■臨時福祉給付金等給付事業(臨時)	2億4,830万円

活力がありつづけるまちづくり

新名神高速道路が全面開通されることで、八幡市はこれまで以上に交通の要衝となります。税源涵養策の一つとなり得る、現在進めている市内関連幹線道路の整備と合わせ、機会を逸することなく地域の活力を支える産業の基盤づくりを進めてまいります。

■市街地整備計画策定(継続)	700万円
■都市計画マスタープラン改定(新規)	400万円
■地籍調査事業(新規)	500万円
■橋本駅周辺拠点整備(継続)	4,578万円
■府道八幡京田辺インター線整備(新規)	1,400万円
■二階堂川口線バイパス整備(継続)	5,188万円
■野神線道路整備(継続)	2,000万円
■府道八幡田辺線整備(継続)	725万円
■融資保証料補給金拡充(新規)	100万円
■新創業融資制度融資利子補給(新規)	100万円
■商工会プレミアム商品券発行助成(継続)	333万円
■地産地消推進(給食地元産米・味噌利用促進)(新規・充実)	166万円
■京野菜等生産加速化事業助成(継続)	370万円
■さくらであい館農産物直売所運営助成(新規)	100万円



1,000万円
440万円
600万円
1,000万円
100万円
(新規)
550万円
570万円

負担、
1,240万円
600万円
190万円
12万円
4万円
40万円
100万円
32万円
50万円

1,035万円
2,000万円
900万円
90万円
定(継続)
200万円
1,000万円



八幡の未来

「健康」で「幸せ」を感じる 「健幸」のまちづくり

我が国における高齢化は世界に例をみないほどの速さで進展していると言われてい
ます。本市におきましても、人口の3割近くが
65歳以上となっており、この比率は今後も高
まる傾向にあります。高齢化の進行は、働き
手の減少、医療・社会保障関係経費の増加な
ど、行財政運営に様々な問題をもたらす可
能性があります。一方で、生涯にわたって働き、
学び、運動し、いきいきとした生活を送るこ

とが、「幸せ」な人生につな
それは、本市にとって大きな
このことから、市民の皆様
らに進めることを目的に、
ウェルネスシティ構想」を軸
定し、健幸アンバサダー(右
ウォーキングの推進など、市
機関と協働しながら「健幸」
まいります。

- スマートウェルネスシティ推進(継続) 2,130万円
- ウォーキング推進(新規) 100万円
- やわたヘルスプロモーション推進
(「健幸アンバサダー」養成)(新規) 40万円
- 食生活改善推進員
- 介護職員初任者研
- 見守り支援対象者
- 閉じこもり予防

子どもが輝く 未来のまちづくり

八幡の未来は子どもたちにかかっています。
「子育ての八幡市」として、これまで子育て支援や教育環境の整備
など、様々な施策により、妊娠期から子育てまでの一貫したサポ
ートを行ってまいりました。平成29年度では、平成28年9月に制定し
た「八幡市子ども条例」の理念を踏まえ施策を充実してまいります。

- 産前・産後ヘルパー派遣(新規) 264万円
- 1歳8カ月児健康診査実施(充実) 345万円
- 乳幼児発達クリニック(新規) 19万円
- 発達障害児等早期療育支援(継続) 153万円
- 児童発達支援事業初度調弁費助成(新規) 380万円
- 子育てサークル助成(新規) 18万円
- 子育て支援センター(指月)中庭芝生化(新規) 35万円
- 八幡市就学前施設再編計画策定(継続) 172万円
- 放課後児童クラブ開設時間延長(充実) 362万円
- 放課後児童支援員増員(充実) 771万円
- 若手保育士への巡回相談支援(新規) 384万円
- 母子家庭等高等学校卒業程度認定試験合格支援(新規) 15万円
- スタディサポート事業(充実) 2,380万円
- 中学校完全給食実施(新規) 7,000万円
- 八幡小学校内装改修実施設計(新規) 400万円
- 子ども会議まとめ記念誌発行・竹灯籠設置(新規) 30万円
- 茶事体験事業(新規) 70万円
- 友好都市マイラン村スカイプ交流(新規) 50万円



文化と暮らしの まちづくり

平成29年度は、市制施行40年を迎える年
であります。そして、京都府、山城地域12市町
村と連携した取組「お茶の京都」のターゲ
ットイヤーでもあります。

11月1日に開催を予定しております市制施
行40周年記念式典をはじめ、多くの関連記念
行事や、写真に特化したソーシャルネット
ワーキングサービスのインスタグラムを活用し
て「八幡の魅力」などを投稿していただくキ
ャンペーンなどを企画し、幅広い年代に本市
の魅力と市制施行40年を発信することとして
おります。

「お茶の京都」のターゲットイヤーとして
は、松花堂、四季彩館での茶会、茶香服や、
石清水八幡宮を舞台にジャズを聴きながらお
茶を楽しむ「CHAZZ」などのイベントを
行うこととしております。

また、「観幸/出逢いのまちやわた」を目
指し、本市の豊かな自然・歴史・文化資源を
活用した取組を進めるとともに、日本三大随
筆の一つ「徒然草」に石清水八幡宮が舞台と
なる「段」があることに因んで、「(仮称)八幡
市徒然草文学賞」を創設し、本市から優れた
文化を全国に発信することとしております。

- 徒然草文学賞表彰(新規)
- 名勝松花堂及び書院庭園保存活用計画策定(新規)
- 歴史文化物語コンテンツ作成・啓発事業(新規)
- 松花堂庭園・梅隠屋根葺き替え及び梅隠修繕(新規)
- お茶の京都交流拠点づくり(新規)
- 石清水八幡宮CHAZZフェスティバル(仮称)開催
- お茶の京都博(さくら茶会、各種イベント等)(新規)
- お茶の京都普及啓発(松花堂・四季彩館茶会、DMO
シンポジウム等)(新規)
- 淀川三川ふれあい交流事業(充実)
- 観光案内用道路標識整備(新規)
- 観光Wi-Fi設置事業(充実)
- 観光プロモーション事業(継続)
- 観光宣伝用クリアファイル増刷(継続)
- 広域観光PR誌作成(継続)
- 背割堤パンフレット改訂(新規)
- 観光協会補助金(社寺観光事業)(継続)

安心して暮らせる 安全で快適なまちづくり

自然災害の脅威から市民の皆様の生命と財産を守る
ことは市の責務であります。少子高齢化に伴う人口減
少社会が進む中であっても、これまでの取組をさらに
充実をさせていくとともに、重要な課題に的確に対応
できる足腰の強い行財政構造を確立し、持続可能なま
ちづくりを目指し、将来のランドデザインを描いて
まいります。

- 新庁舎整備検討(新規) 130万円
- 京都府総合防災訓練実施(臨時) 500万円
- 消防団市長査閲(臨時) 350万円
- マイ防災マップ作成(新規) 25万円
- 消防団・女性防火推進隊活動支援(新規) 1,385万円
- 防犯カメラ設置(充実) 450万円
- 災害に強い森づくり事業(継続)
- 雨水地下貯留施設設置(継続) 40
- じんかい収集車整備(充実)
- 小型家電リサイクル回収(新規)
- 交通安全施設整備(「ゾーン30」の設
- 街路灯LED化(継続)